

令和7年度 学校評価報告 静岡県西遠女子学園 教務部

学校評価は、経営計画や教育計画に基づいて行われる教育活動がどの程度機能しているのかを評価するためにを行います。その結果から、学校が抱えている課題を明らかにし、学校改善を進め、生徒をよりよく育成するとともに、学校の経営責任・説明責任を果たすためのものです。

学校評価には「自己評価」と「学校関係者評価」があります。「自己評価」は、教職員がアンケート(生徒・保護者・教員を対象に行うアンケート)などの結果を基に行います。「学校関係者評価」は、学校関係者(学識経験者や地域住民、PTA 学級委員)が自己評価の評価項目の内容、評価基準、評価結果等について、総合的に評価するものです。

静岡大学大学院教授であった山崎保寿先生のご指導を受け、経年変化を改革に活かすため、平成27年度からは項目・基準をほぼ同じにして実施してきましたが、令和2年度は、より指導改善につながる形を模索するため質問項目、評価の仕方を大きく変更し次のように致しました。

1. 「自己評価」の回答基準、評価基準は以下のとおりです。
 - ・アンケートの回答は5段階 「よくできた:5 ~ できなかった:1」
 - で行い、その平均値をもって評価ポイントとする
2. 保護者アンケート項目は、8つの指導項目についてそれぞれ具体的なアンケート項目について、自己評価と同じ5段階で評価していただきました。
3. 学校関係者評価委員会は年間3回実施し、自己評価について評価・助言をいただきました。自己評価と同じ5段階で評価していただき、その平均値をもって評価ポイントといたしました。

その主な内容を下記にまとめました。(詳細な数値は次頁)

領域	評価項目	自己評価	学校関係者評価 (評価)
生徒指導	生徒育成 品位	挨拶は教員から見ても習慣が定着しつつあり、よくなってきている。今後も教員・生徒・ご家庭などの協力により生徒の自発性を高めていく。	「身だしなみ」と「言葉遣い」の項目は分けた方がよいのではないかと。(4.82)
	安全教育 安全教育・健康	防災訓練では新たな訓練をとり入れた。生徒の心身の健康に関しては、教員間で連携してチームで対応した。	「健康の啓蒙と実践」の項目にも「生徒の評価」を入れてみてはどうか(4.36)
育成 人間性の	人間関係づくり 社会性	日頃から教員・生徒・保護者の関係づくりをし、早期発見・解決に努めてきた。SNS などへの新たな対応も必要。	教員評と生徒で評価する内容にややずれが感じられる。(4.55)
	主体性の育成 公共心・学校行事・ 部活動	部活動では成長できていると答えた生徒が約90%。今後さらに、目的やスローガンを意識した充実した活動にしていく、	教員の評価が低い要因を精査し、改善につなげていただきたい。(4.36)
学習と進路	意欲向上 内発的動機・国際教育	留学生受け入れの減少もあり国際教育の数値が下がった。様々な国際教育プログラムを通して全校体制で育成していく。	国際教育の数値が低下している。上げていく取組みに期待します。(4.55)
	学力向上 教科指導・学力向上・ 進学実績	学習時間量の向上および読解スキルの向上に取り組む、結果に現れた。これを今後、学力アップにつなげていく。	向上した学年があるので、原因を深掘りし、他学年に活かして欲しい。(4.46)
	指導力向上 教科課程・教員研修・ ICT教育	研究授業や教員相互の見学を行い、授業力の向上に努めてきた。ICT化では、デジタルとアナログの使い分けや生成AIの活用法が課題。	教員のICT活用の評価が低い。指導方法の検討が必要ではないかと。(4.36)
保護者・地域との連携	保護者・地域との連携 生徒育成・活動理解・ 広報	例年高い保護者の方からの評価値がやや下がった。今年度からの複数担任制の影響も考えられるので、保護者の方との連携をより意識して活動していく。	保護者数値が下がった理由をきちんと分析し、改善につなげてほしい。(4.55)

令和7年度
学校評価

建学の精神	婦人の中に未来の人は眠れり
校訓	典雅 荘重 (強く 正しく 美しく)
教育目標	未来を拓く女性の育成

領域	目 標	評 価 項 目	達 成 目 標	自己評価 (5段階)		関係者 評価 (5段階)
				R6年度	R7年度	
生徒指導	I 生徒育成	(1)規律	①【教員の判断】規則・時間を守り規律ある集団生活をおくる指導	-	-	4.82
			②【生徒の判断】規則・時間を守り、規律ある集団生活をおくる	4.32	4.26	
		(2)品位	①【教員の判断】正しい服装・身だしなみ・言葉遣いの指導	3.93	3.81	
			②【生徒の判断】正しい服装・身だしなみ・言葉遣い	4.29	4.23	
			①【教員の判断】適切な挨拶の指導	3.90	4.19	
			②【生徒の判断】相手や状況に応じた、適切な挨拶	4.40	4.39	
	II 安全教育	(3)安全教育	①【教員の判断】安全・防災の意識の向上指導	3.83	3.97	4.36
			②【生徒の判断】非常時取る行動の理解	4.17	4.15	
	(4)健康	①【教員の判断】健康を向上するための連携した指導	4.03	3.94		
人間性の育成	III 人間関係づくり	(1) 社会性	①【教員の判断】人間関係把握・適切な対処	4.23	4.00	4.55
			②【生徒の判断】互いに高め合い、前向きな問題解決	4.30	4.23	
			①【教員の判断】リーダーシップとフォロワーシップの育成	4.13	4.16	
			②【生徒の判断】リーダーシップとフォロワーシップの育成	4.16	4.18	
	IV 主体性の育成	(2)公共心	①【教員の判断】姉妹掃除を含む校内美化の指導	3.97	3.94	4.36
			②【生徒の判断】校内美化を意識した掃除への取り組み	4.49	4.55	
		(3)学校行事	①【教員の判断】行事を通して21世紀型スキルを身に付けさせる指導	4.17	4.10	
			②【生徒の判断】行事を通じた主体的な取り組みと成長	4.35	4.31	
		(4)部活動	①【教員の判断】部活動の目標設定と適切な運営・指導	3.83	3.74	
			②【生徒の判断】部活動への目標をもった取り組み・成長	4.38	4.35	
学習と進路	V 意欲向上	(1)意欲向上・内発的動機	①【教員の判断】将来を見据えた進路の研究と指導	3.77	3.87	4.55
			②【生徒の判断】自分の将来や進路について考える	4.13	4.14	
		(2)国際教育	①【教員の判断】国際社会への関心を持たせる働きかけ	4.20	3.68	
			②【生徒の判断】将来留学してみたい	3.34	3.21	
	VI 学力向上	(3)教科指導	①【教員の判断】基礎学力を向上させる指導	3.37	3.65	4.46
			②【生徒のデータ】学力診断合格率	1	2	
		(4)学力向上	①【教員の判断】学習意欲をもたせる指導	3.70	3.68	
			②【生徒のデータ】GTZ:B2以上の生徒の割合	1	1	
		(5)進学実績	①【教員の判断】数値目標を見据えた学習指導	3.63	3.58	
	②【生徒のデータ】GTZ:A以上の生徒の割合	1	1			
	VII 指導力向上	(6)教科課程	①【教員の判断】教科課程の振り返り・見直し・実践	3.93	4.00	4.36
			②【教員の判断】研修を通じた指導力の向上	3.90	3.87	
(8)ICT教育		①【教員の判断】ICT機器を活用した効果的な学習指導	3.90	3.65		
		②【生徒の判断】ICT機器の利用による理解の深まり	3.81	3.93		
保護者の連・携・地域と	VIII 保護者・地域連携	(1)生徒育成	①【教員の判断】生徒の成長のための保護者と学校の連携	4.03	3.90	4.55
			②【保護者の判断】学校と連携した教育への取り組み	4.05	3.83	
	(2)活動理解	①【教員の判断】保護者に教育活動を伝える取り組み	4.00	3.94		
		②【保護者の判断】学校・学年・クラスの教育活動理解	3.96	3.85		
	(3)地域連携	①【教員の判断】地域に、学校や生徒の取り組みを理解	3.50	3.48		

*生徒指導 I 生徒育成 (1)規律 は近年良好な状況のため、今年度学校評価項目から外した項目。